

第2次中期計画(2013-2015)の基調



第2次中期計画の位置づけ

「コープあいち」が誕生した年から3年間は、両生協の良さを発展させて新しい組織文化を創り上げることをめざした中期計画でした。今年からの第2次中期計画は、2020年ビジョンの実現をめざします。

基調

1 総合力とくらしのネットワークで組合員に貢献します

- くらしのネットワークを強化し、事業間の連携、福祉の視点での事業改革をすすめ、よりくらしに寄り添った事業をめざします。
- 厳しくなるくらしに貢献できる事業と活動をすすめます。
- 加入率20%を早期にめざし、15年度組合員数48万人を目標とします。



2 安心してくらせるまちづくりをめざし、地域とのつながりを強めます

- 組合員参加と運営の方針を生かして、多様な活動と参加を広げます。
- 行政や地域の団体との連携でくらしやすいまちづくりをめざします。
- 組合員と被災地をつなぐ復興支援に取り組みます。
- 協同組合が協力し合って助け合いやつながりを大切にする社会をめざします。



3 経営基盤の確立、組織風土改革と人材育成をすすめます

- 3つの視点を大切にし、生協に入ってよかったと認知される事業をめざします。
- 経営基盤の確立、幅広い分野での人材育成、組合員の声にこたえる強固な業務組織作りをすすめます。
- 従来の仕事の在り方、考え方を見直し、業務組織の新しい組織文化づくりをすすめます。



予想されるくらしをとりまく環境の変化

経済環境の激変

2014年、2015年に消費税の段階的増税が行われる

急速な高齢化

2015年の愛知は高齢者約177万人
高齢化率24%を超える

くらしの圧迫

夫婦合わせた年収400万円未満が38%に。2000年は22%だった

厳しい事業環境

他県からのスーパー進出。
ネットスーパー食品小売業の過当競争が激化

生活スタイルの変化

震災後のくらしを見直す機会。
つながり、たすけあいの価値を再確認

福島原発事故以降

再生可能なエネルギーへの期待の高まり

平和をめぐる心配

憲法改正の動きや
国境に関わる紛争など